

平成 25 年 度

航 空 旅 客 動 態 調 査

一 日 集 計 一
報 告 書

平成27年3月

国 土 交 通 省 航 空 局

平成25年度 航空旅客動態調査

－ 集計結果 －

目 次

調査概要

1	調査目的	1
2	調査内容	2
3	調査対象	5
4	調査方法	5
5	調査実施日	5
6	回収状況	5
7	集計内容	7

1. 集計結果（平日）

平日	表 1	OD表（空港間純流動）	1－ 1
平日	表 2	OD表（空港間総流動）	1－ 8
平日	表 3	OD表（県間流動）	1－ 15
平日	表 4	空港別 出発地・目的地・現住所	1－ 19
平日	表 5	空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	1－152
平日	表 6	OD別 旅行目的	1－155
平日	表 7	OD別 旅行日数	1－161
平日	表 8	OD別 旅行行程	1－167
平日	表 9－1	路線別 利用航空券の種類	1－173

平日	表 9-2	路線別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1-173
平日	表10	OD別	乗り換え空港	1-182
平日	表11	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	1-198
平日	表12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数	1-205
平日	表13	出発空港別	アクセス経費	1-210
平日	表14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間	1-215
平日	表15-1		空港間移動の手段	1-219
平日	表15-2		空港間移動の所要時間	1-219
平日	表15-3		空港間移動の経費	1-219

2. 集計結果（休日）

休日	表 1	OD表	（空港間純流動）	2- 1
休日	表 2	OD表	（空港間総流動）	2- 8
休日	表 3	OD表	（県間流動）	2- 15
休日	表 4	空港別	出発地・目的地・現住所	2- 19
休日	表 5	空港別	出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	2-161
休日	表 6	OD別	旅行目的	2-164
休日	表 7	OD別	旅行日数	2-171
休日	表 8	OD別	旅行行程	2-177
休日	表 9-1	路線別	利用航空券の種類	2-183
休日	表 9-2	路線別	利用航空券の種類（{その他割引}の割引率の内訳）	2-183
休日	表10	OD別	乗り換え空港	2-192
休日	表11	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	2-209
休日	表12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数	2-216

休日	表13	出発空港別 アクセス経費	2-221
休日	表14	出発空港別 見送り人数・空港滞留時間	2-226
休日	表15-1	空港間移動の手段	2-230
休日	表15-2	空港間移動の所要時間	2-230
休日	表15-3	空港間移動の経費	2-230

3. 航空旅客動態調査を用いた旅客流動分析等

(1)	調査実施状況の変更点	3-1
(2)	航空を取り巻く状況の変化	3-14

4. 航空旅客の動向に関する検討

(1)	東京-大阪、東京-愛知、東京-北海道間の県間流動の分析	4-1
-----	-----------------------------	-----

調 査 概 要

1 調査目的

本調査は、我が国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地）、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査内容

本調査は、以下に示す質問から構成されており、それぞれの詳細は、次頁に示す調査票のとおりである。調査内容は、平日用・休日用とも同一とするが、両者を区別するため平日用は黒文字、休日用は青文字で印刷した。

- (1) 出発地
- (2) アクセス実態
 - ① 利用手段
 - ② 所要時間
 - ③ 経費
 - ④ 空港滞留時間
 - ⑤ 自家用車、社用・公用車での来港者の駐車場利用の有無
- (3) 出発空港
- (4) 利用航空券の種類・座席の種類
- (5) 乗継空港・到着空港
- (6) イグレス利用手段
- (7) 目的地
- (8) 旅行目的等
 - ① 旅行目的
 - ② 旅行日数
 - ③ 旅行行程の相違
 - ④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港
 - ⑤ 同行者数
 - ⑥ 見送り人数
- (9) 個人属性
 - ① 性別
 - ② 年齢
 - ③ 職業
 - ④ 年収（税込み）
 - ⑤ 現住所・国
 - ⑥ 同行者の属性（性別・年齢・職業・年収）

調査票サンプル (1)

00001



航空旅客動態調査票

Travel Survey for Domestic Air Passengers



国土交通省では、飛行機を利用して移動されている皆様がより安全・快適に旅行をしていただけるよう、今後の航空政策の企画立案に活用するため「航空旅客動態調査」を実施しております。この調査は無記名で実施し、ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。
お手数をおかけ致しますが、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

This questionnaire is part of a survey being conducted by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Thank you for your cooperation.

※ご回答の前に、ご一読下さい。

1. 日帰り旅行の方: 行きのみのご回答頂いた場合でも、お手数ですがもう一度ご回答下さい。
2. 国内線を乗り継いで目的地に行かれる方: 本日、既に調査にご協力頂いた場合はご回答頂く必要はありません。
3. 現住所が同一のご家族で旅行されている方: 代表者の方1名様のみご回答下さい。

— 以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号を○で囲んで下さい。—
(Please provide the information requested below.)

問1. 現住所についてお答え下さい。

住んでいる国 Country of residence				
現住所 City of residence	都・道 府・県 State/Metropolis	区・市 郡 City/District	区・町 村 Ward/Town/Village	

問2. 今回の旅行全体についてお聞きします。

問2-1: 旅行の主な目的をお答え下さい。(What is the main purpose of your trip?)

1. 仕事 (Business) 2. 観光 (Sightseeing) 3. 私用(帰省等) (Private) 4. その他 (Other)

問2-2: 旅行日数をお答え下さい。(How many days is your trip?)

1. 日帰り(One day) 2. 宿泊を伴う旅行 (Two days or more)
 ↳ 全体日数 _____ 泊 _____ 日 本日の行程 _____ 日目
 (All schedule) (Nights) (Days) (Which day of your trip is today?)
 (EX: 1st, 2nd)

問2-3: 旅行の帰り(または行き)に、現在と同じ航空路線を利用しますか(しましたか)。
(Are your inward and outward-bound flight routes the same?)

1. 利用する(利用した) (Same route) 2. 他の航空路線を利用する(利用した) (Different route) 3. 他の交通機関を利用する(利用した) (Different form of transportation)
 4. 転居・赴任等により片道の旅行 (One way) 5. 未定 (Other)

氏名 _____ 質問は裏面に続きます 

※記入しないで下さい (調査員記入欄) Following questions are only available in Japanese.
 If you don't understand Japanese, you don't need to answer following questions.

問2-4: ご搭乗されている便の航空券の種類をお答え下さい。

1. 普通運賃 2. 往復割引 3. 乗継割引 4. マイレージ特典 5. 回数券
 6. 団体運賃・パッケージツアー等 7. その他割引運賃(旅割、先得、バーゲン等)

問2-5: ご搭乗されている便の航空運賃をお答え下さい。

_____ 円/人 ※乗継割引・パッケージツアー等により、ご搭乗区間の運賃が不明で合計金額をご記入された方は、「レ印」をご記入下さい。

問2-6: ご搭乗されている便の座席の種類をお答え下さい。

1. 普通席 2. 普通席以外(ファーストクラス、クラスJ、JAL、プレミアムクラス、ANA等)

問3. あなたご自身とご家族についてお聞きします。

問3-1: ご自身の性別・年齢・職業・年収をご本人欄に番号でご記入下さい。
 ※家族1から家族5の欄には、同行されているご家族(現住所が同一の方)についてご記入下さい。

	選 択 肢	ご本人	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
性別	1. 男 2. 女						
年齢	1. 14歳以下 2. 15~19歳 3. 20~24歳 4. 25~29歳 5. 30~34歳 6. 35~39歳 7. 40~44歳 8. 45~49歳 9. 50~54歳 10. 55~59歳 11. 60~64歳 12. 65~69歳 13. 70~74歳 14. 75歳以上						
職業	1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他						
年収 *1	1. なし 2. 100万円未満 3. 100~199万円 4. 200~299万円 5. 300~399万円 6. 400~499万円 7. 500~699万円 8. 700~999万円 9. 1,000~1,499万円 10. 1,500~1,999万円 11. 2,000万円以上						

*1 年収についての設問は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空政策の参考とするためにお聞きしています。

問3-2: 3才以上の同行者の人数をご記入下さい。(ご家族以外も含みます)
 ※同行者がいない場合は「0人」とご記入下さい。 _____ 人

問3-3: 空港までのお見送りの方の人数をご記入下さい。(小学生以上)
 ※お見送りの方がいない場合は「0人」とご記入下さい。 _____ 人

調査票サンプル (2)

問4. 出発地からご搭乗便の出発空港までの移動についてお聞きします。

問4-1: 本日の出発地についてお答え下さい。
 ※日帰り出張や旅行からお帰りの方は、出張先・宿泊地が出发地

1. 現住所(問1)が出发地である。
 2. 現住所(問1)以外が出发地である。

※本日の出发地をご記入下さい。

都道府県	区市郡	区町村
------	-----	-----

◀ 出发地の住所がわからない方 ▶
 ・出发地の駅名、ホテル名、観光地名等をご記入下さい。
 ・出发地が海外の方は国名をご記入下さい。

問4-2: 本日の出发地からご搭乗便の出発空港までに利用した交通機関を順番に番号でご記入下さい。

出発地(問4-1) → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → 出発空港(問5-1)

1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)
4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス(主要駅から空港直行)
7. 高速バス(空港直行以外)	8. 貸切りバス	9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー	11. 自家用車、社用・公用車	12. レンタカー
13. 船	14. 国際線	15. その他(徒歩・自転車等)

◀ 国際線を利用された方 ▶
 ※利用した空港をご記入下さい。

空港 → 国際線から直接ご搭乗便に乗り継いだ方は問5へ

1. 車は空港内の駐車場に停めている
 2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている
 3. 車は同乗者が乗って帰った

問4-3: 本日の出发地からご搭乗便の出発空港までの所要時間をお答え下さい。

1. 30分以内	2. 31分～1時間	3. 1時間1分～1時間30分	4. 1時間31分～2時間
5. 2時間1分～2時間30分	6. 2時間31分～3時間	7. 3時間1分以上	

問4-4: 本日の出发地からご搭乗便の出発空港までの一人当たりの交通費をお答え下さい。

1. 1,000円以下	2. 1,001～2,000円	3. 2,001～3,000円	4. 3,001～4,000円
5. 4,001～5,000円	6. 5,001～10,000円	7. 10,001円以上	

問4-5: 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか。

_____ 時間 _____ 分前

質問は裏面に続きます

問5. ご搭乗の航空便についてお聞きします。

問5-1: ご搭乗便の出発空港及び到着空港をご記入下さい。
 ※ご搭乗便の到着空港から目的地まで国内線を乗り継ぐ場合は、乗継先の空港をご記入下さい。

(出発空港) → (到着空港) → → 目的地

..... → (乗継先空港①) → (乗継先空港②) → ↑

＝乗り継ぎの記入例＝

1. 福岡空港 → 羽田空港 → 新千歳空港 → 目的地
 (出発空港) (到着空港) (乗継先空港①)

2. 新千歳空港 → 羽田空港 → 成田空港 → 関西空港 → 目的地
 (出発空港) (到着空港) (乗継先空港①) (乗継先空港②)

※飛行機を乗り継ぐために陸路を移動した場合でも国内線の乗り継ぎになります。

問6. ご搭乗便の到着空港(最終乗継先空港)から目的地までの移動についてお聞きします。

問6-1: この飛行機の到着空港から目的地までの交通機関を、利用予定の順に番号でご記入下さい。
 ※国内線を乗り継ぐ方は、最終乗継先空港から目的地までの交通機関をご記入下さい。

到着空港(最終乗継先空港(問5-1)) → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → 目的地

1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)
4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス(主要駅から空港直行)
7. 高速バス(空港直行以外)	8. 貸切りバス	9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー	11. 自家用車、社用・公用車	12. レンタカー
13. 船	14. 国際線	15. その他(徒歩・自転車等)
16. わからない		

問6-2: 本日の目的地についてお答え下さい。
 ※日帰り出張や旅行へ行かれる方は、出張先・宿泊地が目的地

1. 現住所(問1)が目的地である。
 2. 現住所(問1)以外が目的地である。

※本日の目的地をご記入下さい。

都道府県	区市郡	区町村
------	-----	-----

◀ 目的地の住所がわからない方 ▶
 ・目的地の駅名、ホテル名、観光地名等をご記入下さい。
 ・目的地が海外の方は国名をご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

3 調査対象

本調査の対象は、調査実施日に国内航空路線を利用する全航空旅客とする。

4 調査方法

国内航空会社（23社）の協力を得て、原則として客室乗務員が航空機内で調査票の配布・回収を行っているが、フライト時間が短い路線の場合、搭乗口で配布し機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席にセットし機内で回収する方法をとっている。

また、客室乗務員が乗務しない路線や、航空機内での実施が困難な路線では、搭乗手続き時に係員が調査票を配布し、搭乗時に回収を行う方法等をとっている。

5 調査実施日

本調査は、平成25年11月17日（日曜日）【休日調査】、11月20日（水曜日）【平日調査】に実施した。

なお、天候不良等で調査を実施できなかった便については、原則翌日または翌週の同曜日に調査を実施している。（場合によって調査実施日が異なる場合がある。）

また、休日調査については、休日の旅客流動の特性を踏まえるため、調査を実施できない場合、翌週の日曜日に原則実施している。

6 回収状況

調査実施日における航空会社別の旅客実績及び回収調査票数等は、次表に示すとおりである。

航空会社別回収結果

航空会社	項目	平日調査					休日調査				
		提供座席数 (A)	旅客数 (B)	搭乗率(%) (B/A)	回収数 (C)	回収率(%) (C/B)	提供座席数 (A)	旅客数 (B)	搭乗率(%) (B/A)	回収数 (C)	回収率(%) (C/B)
株式会社日本航空グループ (JAL・JAC・JTA・RAC・J-AIR・JEX)		130,873	85,645	65.4%	52,637	61.5%	133,894	108,085	80.7%	72,062	66.7%
全日本空輸株式会社グループ (ANA・AKX)		172,624	108,399	62.8%	64,282	59.3%	176,867	141,942	80.3%	87,127	61.4%
新中央航空株式会社(CUK)		342	235	68.7%	197	83.8%	380	233	61.3%	209	89.7%
オリエンタルエアブリッジ株式会社(ORG)		720	439	61.0%	202	46.0%	960	519	54.1%	385	74.2%
東邦航空株式会社(TAL)		90	74	82.2%	69	93.2%	81	43	53.1%	38	88.4%
株式会社北海道エアシステム(HAC)		648	432	66.7%	227	52.5%	648	439	67.7%	336	76.5%
スカイマーク株式会社(SKY)		25,842	13,831	53.5%	5,813	42.0%	26,550	20,135	75.8%	8,811	43.8%
北海道国際航空株式会社(ADO)		12,752	7,196	56.4%	5,294	73.6%	12,989	11,137	85.7%	7,929	71.2%
アイベックスエアラインズ株式会社(IBX)		3,220	2,333	72.5%	1,878	80.5%	3,220	2,728	84.7%	2,160	79.2%
天草エアライン株式会社(AMX)		312	191	61.2%	153	80.1%	390	291	74.6%	193	66.3%
スカイネットアジア航空株式会社(SNA)		10,308	6,125	59.4%	3,394	55.4%	10,308	8,278	80.3%	4,705	56.8%
株式会社スターフライヤー(SFJ)		9,222	5,856	63.5%	4,370	74.6%	9,216	7,807	84.7%	5,916	75.8%
株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)		3,208	1,994	62.2%	1,448	72.6%	2,780	2,269	81.6%	1,603	70.6%
第一航空株式会社(DAK)		81	47	58.0%	46	97.9%	54	36	66.7%	35	97.2%
新日本航空株式会社(NJA)		27	11	40.7%	11	100.0%	-	-	-	-	-
ジェットスター・ジャパン株式会社(JJP)		9,000	6,528	72.5%	4,524	69.3%	11,880	9,675	81.4%	7,068	73.1%
Peach aviation株式会社(APJ)		6,840	5,214	76.2%	2,969	56.9%	7,380	6,322	85.7%	3,075	48.6%
合 計		386,109	244,550	63.3%	147,514	60.3%	397,597	319,939	80.5%	201,652	63.0%

7 集計内容

本調査においては、次章の「1. 集計結果（平日）」及び「2. 集計結果（休日）」の表1～表15に示す各集計を行った。各表の内容については、以下にまとめるとおりである。

なお、問1および問3の回答に基づき、旅客の個人属性についての単純集計結果をまとめると、以下に示すとおりとなる。

単純集計結果（1）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男性	89,110	64.7%	97,046	51.1%
	女性	48,679	35.3%	92,883	48.9%
	(不明)	9,725	-	11,723	-
	合計	147,514	100.0%	201,652	100.0%
職業	会社役員	16,315	11.7%	15,353	8.1%
	会社員	64,737	46.6%	82,148	43.2%
	公務員	7,634	5.5%	14,237	7.5%
	農業・漁業	1,857	1.3%	1,717	0.9%
	商工・自営業	5,476	3.9%	8,085	4.2%
	自由業	3,976	2.9%	5,599	2.9%
	学生・生徒	8,062	5.8%	17,337	9.1%
	無職・その他	30,852	22.2%	45,848	24.1%
	(不明)	8,605	-	11,328	-
合計	147,514	100.0%	201,652	100.0%	

単純集計結果（２）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
年齢	14 歳以下	5,310	3.8%	10,294	5.4%
	15～19 歳	2,123	1.5%	5,612	2.9%
	20～24 歳	5,525	3.9%	9,630	5.0%
	25～29 歳	9,047	6.4%	16,484	8.6%
	30～34 歳	10,987	7.8%	16,739	8.7%
	35～39 歳	13,124	9.3%	17,353	9.0%
	40～44 歳	15,525	11.1%	19,442	10.1%
	45～49 歳	16,061	11.4%	19,976	10.4%
	50～54 歳	16,109	11.5%	20,845	10.8%
	55～59 歳	14,470	10.3%	18,060	9.4%
	60～64 歳	13,930	9.9%	16,855	8.8%
	65～69 歳	9,369	6.7%	10,751	5.6%
	70～74 歳	5,360	3.8%	6,051	3.1%
	75 歳以上	3,537	2.5%	4,216	2.2%
	(不 明)	7,037	-	9,344	-
合 計	147,514	100.0%	201,652	100.0%	
年収 (税込み)	なし	17,526	13.2%	31,153	17.4%
	100 万円未満	7,157	5.4%	11,503	6.4%
	100～200 万円未満	7,718	5.8%	13,218	7.4%
	200～300 万円未満	11,065	8.3%	19,195	10.7%
	300～400 万円未満	12,305	9.3%	20,366	11.4%
	400～500 万円未満	11,698	8.8%	17,076	9.5%
	500～700 万円未満	20,134	15.2%	23,963	13.4%
	700～1000 万円未満	21,649	16.3%	20,620	11.5%
	1000～1500 万円未満	15,116	11.4%	13,410	7.5%
	1500～2000 万円未満	3,985	3.0%	3,981	2.2%
	2000 万円以上	4,171	3.1%	4,581	2.6%
	(不 明)	14,990	-	22,586	-
	合 計	147,514	100.0%	201,652	100.0%

単純集計結果（3）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北海道	15,177	10.4%	19,352	9.7%
	青森県	1,054	0.7%	1,550	0.8%
	岩手県	608	0.4%	936	0.5%
	宮城県	2,189	1.5%	3,699	1.8%
	秋田県	1,350	0.9%	1,820	0.9%
	山形県	662	0.5%	1,162	0.6%
	福島県	831	0.6%	1,452	0.7%
	茨城県	1,964	1.3%	2,881	1.4%
	栃木県	815	0.6%	1,585	0.8%
	群馬県	674	0.5%	1,196	0.6%
	埼玉県	6,077	4.2%	8,997	4.5%
	千葉県	7,942	5.4%	10,596	5.3%
	東京都	21,837	14.9%	28,618	14.3%
	神奈川県	11,884	8.1%	15,760	7.9%
	新潟県	973	0.7%	1,809	0.9%
	富山県	720	0.5%	1,249	0.6%
	石川県	1,300	0.9%	1,957	1.0%
	福井県	337	0.2%	512	0.3%
	山梨県	341	0.2%	713	0.4%
	長野県	557	0.4%	853	0.4%
岐阜県	820	0.6%	1,230	0.6%	
静岡県	1,203	0.8%	1,755	0.9%	
愛知県	4,545	3.1%	6,843	3.4%	
三重県	798	0.5%	1,022	0.5%	
滋賀県	575	0.4%	831	0.4%	

単純集計結果（４）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	京 都 府	1,482	1.0%	1,895	0.9%
	大 阪 府	10,097	6.9%	12,332	6.2%
	兵 庫 県	5,656	3.9%	7,009	3.5%
	奈 良 県	1,024	0.7%	1,246	0.6%
	和 歌 山 県	865	0.6%	1,221	0.6%
	鳥 取 県	436	0.3%	793	0.4%
	島 根 県	843	0.6%	1,189	0.6%
	岡 山 県	1,338	0.9%	1,887	0.9%
	広 島 県	1,918	1.3%	2,715	1.4%
	山 口 県	1,430	1.0%	1,828	0.9%
	徳 島 県	780	0.5%	1,427	0.7%
	香 川 県	1,089	0.7%	1,490	0.7%
	愛 媛 県	2,133	1.5%	3,205	1.6%
	高 知 県	958	0.7%	1,851	0.9%
	福 岡 県	10,370	7.1%	13,259	6.6%
	佐 賀 県	1,038	0.7%	1,584	0.8%
	長 崎 県	2,346	1.6%	3,406	1.7%
	熊 本 県	2,623	1.8%	3,971	2.0%
	大 分 県	1,571	1.1%	2,414	1.2%
	宮 崎 県	2,341	1.6%	3,633	1.8%
	鹿 児 島 県	4,042	2.8%	4,955	2.5%
	沖 縄 県	5,728	3.9%	7,104	3.6%
	海 外	1,007	0.7%	1,175	0.6%
(不 明)	1,166	-	1,685	-	
合 計		147,514	100.0%	201,652	100.0%

表1 OD表（空港間純流動） [問5-1]

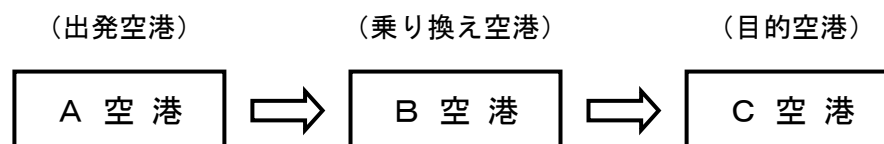
表1は、各旅客の調査実施日における最初の出発空港と最後の到着空港（目的空港）間における流動について集計したものであり、純流動ベースの空港間OD表である。

純流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地にかかわらず1トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、A空港を出発し、最終的にC空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A空港] → [C空港] のトリップを行った旅客として集計される。

したがって、純流動ベースのOD表においては、路線（直行便）が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例 (乗り換えを1回行った場合)



		目的空港		
		A	B	C
出発空港	A	0	0	1
	B	0	0	0
	C	0	0	0

表2 OD表（空港間総流動） [問5-1]

表2は、各路線における流動を集計したものであり、総流動ベースのOD表である。

総流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地の状況を考慮し、区間毎の流動を1トリップとして集計する流動である。

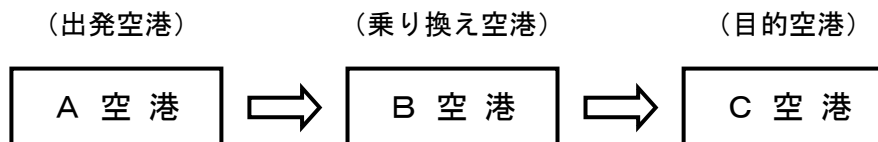
以下の例に示すとおり、A空港を出発し、B空港で乗り換えを行い、最終的にC空港に至った旅客は、[A空港] → [B空港] として1トリップ、[B空港] → [C空港] として1トリップの計2トリップが集計される。

したがって、総流動ベースのOD表では、原則として路線（直行便）が開設・運航されている空港間みの流動量が集計される。

ただし、羽田⇄成田、伊丹⇄関西、関西⇄神戸、神戸⇄伊丹、新千歳⇄丘珠、中部⇄小牧等の地上交通機関を利用して当該区間を乗り継いだと考えられる旅客数を集計しており、表2の中では内数として括弧書きで示している。

例

（乗り換えを1回行った場合）



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

表3 OD表（県間流動） [問1・問4-1・問6-2]

表3は、出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の観点から、都道府県間における流動を集計したものであり、純流動ベースのOD表である。

すなわち、ここでは、旅客がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空を利用したのかについて集計したものであり、したがって、出発地あるいは目的地となる都道府県は、出発空港あるいは目的空港が立地する都道府県とは、必ずしも一致しないことになる。

なお、出発地あるいは目的地については、国際線との乗り換えを行う場合は外国として集計され、無回答の場合は不明として集計される。

表4 空港別 出発地・目的地・現住所 [問1・問4-1・問5-1・問6-2]

表4は、各空港における出発旅客の出発地、到着旅客の目的地、及びこれらの合計と、出発旅客及び到着旅客の現住所について集計したものである。

なお、ここでの、出発旅客、到着旅客とは、乗り換え旅客を含んでおらず、純流動ベースのOD集計結果(表1)から得られる各空港の発着旅客数に一致する。また、表4に示す市区町村は、平成25年12月1日時点の全国地方公共団体コード(総務省)に準じており、各空港の所在都道府県を最初に表示し、以降は全国地方公共団体コード順に示している。

例) 羽田空港 平日 表4 空港別 出発地・目的地・現住所 (単位:人)

	地区名	出発旅客数(出発地)	%	到着旅客数(目的地)	%	合計(乗降旅客数)	%	乗降客の現住所	%
東京都	千代田区	1,309	3.2	2,068	5.1	3,377	4.1	166	0.2
	中央区	1,167	2.8	1,433	3.5	2,600	3.2	458	0.5
	港区	2,038	5.0	2,539	6.3	4,577	5.6	797	0.9
	新宿区	1,012	2.5	1,063	2.6	2,075	2.5	607	0.7
	文京区	429	1.0	373	0.9	802	1.0	436	0.5

○出発旅客数(出発地) ・羽田空港の出発便に搭乗した旅客(羽田空港で乗り換えた旅客を除く)の出発地について、市区町村別に集計したものである。ここで出発地とは、調査当日の対象トリップにおいて羽田空港に向けて移動し始めた地点である。
 ・上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した旅客が1,309人であったことを示している。
 ※羽田空港を出発した旅客の到着地については、到着空港の表4における“到着旅客数(目的地)”に集計される。

○到着旅客数(到着地) ・羽田空港の到着便に搭乗していた旅客(羽田空港で乗り換える旅客を除く)の到着地について、市区町村別に集計したものである。ここで到着地とは、対象トリップの目的地を意味している。
 ・上記の例では、羽田空港で降機した後、千代田区を目的地として向かった旅客が2,068人であったことを示している。
 ※羽田空港に到着した旅客の出発地については、出発空港の表4における“出発旅客数(出発地)”に集計される。

○合計(乗降旅客数) ・出発旅客数(出発地)と到着旅客数(目的地)の合計値

○乗降客の現住所 ・羽田空港を利用した旅客(羽田空港で乗り換えた旅客を除く)の現住所について、市区町村別に集計したものである。
 ・上記の例では、羽田空港利用者のうち、千代田区に現住所がある旅客が166人であったことを示している。

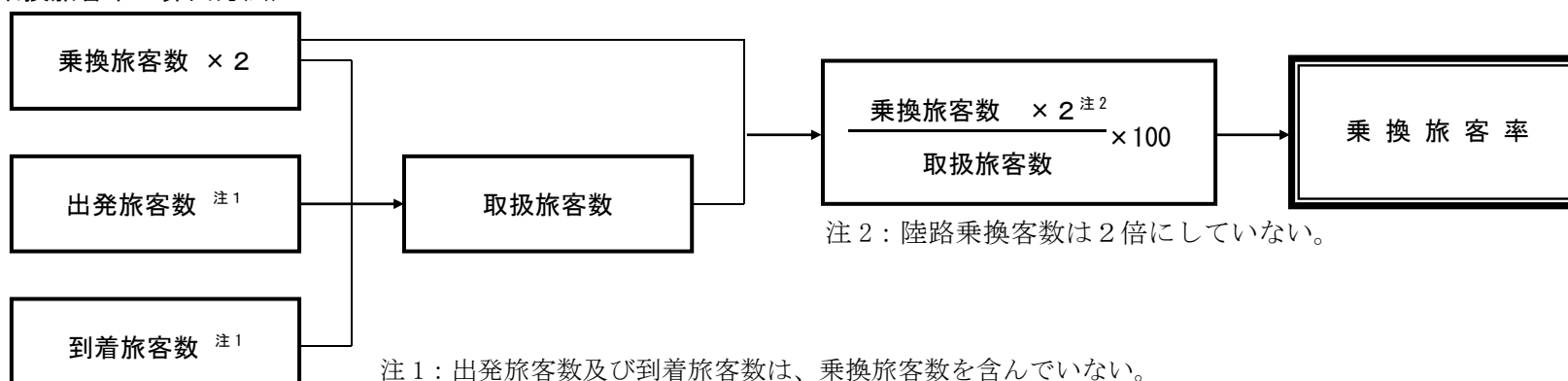
表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 [問5-1]

表5は、各空港における純流動ベースでの出発旅客数と到着旅客数、及び当該空港で飛行機の乗り換えを行った旅客（乗換旅客数）について集計したものである。また、これらの数値を用いて、以下に示す方法で、乗換旅客がそれぞれの空港における取扱旅客数（出発旅客・到着旅客・乗換旅客の合計）に対し、どの程度の割合を占めているか（乗換旅客率）を算出している。

なお、乗換旅客数については、空港取扱い旅客の観点からみた場合、乗り換えのために空港に到着した時点で到着旅客として1人、その後、他の路線（便）で出発した時点で出発旅客として1人の延べ2人の旅客としてカウントする必要がある。このことから、ここでの計算過程においては、乗換旅客数を2倍することによって、取扱旅客数を計算している。なお、陸路の乗換旅客については、2倍の処理を行っていない。

※表5の乗換旅客数の列には2倍する前の乗換旅客数（実人数）が入力されている。

（乗換旅客率の算出方法）



注1：出発旅客数及び到着旅客数は、乗換旅客数を含んでいない。

例) 平日 表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 (単位：人)

空港名	出発旅客数	到着旅客数	合計	当空港乗換旅客数	陸路乗換旅客数	取扱旅客数	乗換旅客率 %
稚内	115	144	259	2	0	263	1.5
釧路	565	590	1,155	11	0	1,177	1.9
函館	937	1,176	2,113	29	0	2,171	2.7
旭川	795	747	1,542	3	2	1,550	0.5
帯広	505	374	879	0	0	879	0.0

注3：函館空港において飛行機を乗り継いだ旅客数が21人であったことを示している。

函館空港の取扱旅客数＝出発旅客数（937人）＋到着旅客数（1,176人）＋（当空港乗換旅客数（29人）×2）＋陸路乗換旅客数（0人）＝2,171人

<< 表 6 ～ 表 10 の集計対象 >>

表 6 ～ 表 10 は純流動ベースの空港間 OD の集計表である。集計対象は、路線（直行便）が開設・運航されている空港間（平日：222 組、休日：226 組）と、開設・運航されている路線（直行便）はないながらも、純流動ベースによる空港間 OD 表（表 1）において往復合計で 20 以上のサンプル（回収票）があった空港間（平日：86 組、休日：97 組）であり、平日調査で 308 組、休日調査で 323 組の OD ペアが集計対象となる。

集計は純流動ベースであるため、路線（直行便）が開設・運航されている空港間 OD の集計においては、乗り換え経路の旅客が含まれている。例えば、福岡～新千歳路線の集計には直行便利用者の他、福岡～羽田～新千歳のように羽田空港等で乗り換えを行った旅客が含まれている。

また、空港間 OD については取扱量の多い空港順に集計結果を示している。

直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプル(回収票)があったODペア

平日調査

ODペア		(サンプル数)	ODペア		(サンプル数)	ODペア		(サンプル数)	ODペア		(サンプル数)
羽田	成田	(60)	福岡	新石垣	(162)	関西	宮古	(58)	新石垣	岡山	(57)
羽田	仙台	(22)	福岡	函館	(48)	関西	女満別	(24)	新石垣	高松	(35)
羽田	対馬	(43)	福岡	秋田	(34)	関西	久米島	(36)	新石垣	富山	(20)
羽田	久米島	(71)	福岡	宮古	(67)	鹿児島	仙台	(100)	大分	八丈島	(23)
羽田	屋久島	(97)	福岡	青森	(21)	鹿児島	島新	(25)	神戸	宮古	(25)
羽田	徳之島	(58)	福岡	旭川	(27)	鹿児島	島女	(30)	岡山	秋田	(22)
羽田	福江	(43)	福岡	女満別	(23)	鹿児島	島帯	(21)			
羽田	沖永良部	(24)	福岡	帯広	(32)	仙台	熊本	(22)			
羽田	天草	(24)	伊丹	関西	(30)	仙台	宮崎	(53)			
羽田	喜界	(25)	伊丹	新石垣	(54)	仙台	松山	(45)			
羽田	種子島	(43)	伊丹	宮古	(63)	仙台	新石垣	(24)			
羽田	但馬	(33)	伊丹	旭川	(92)	仙台	高知	(43)			
羽田	隠岐	(25)	伊丹	女満別	(29)	仙台	出雲	(24)			
羽田	紋別	(31)	伊丹	釧路	(60)	仙台	宮古	(23)			
新千歳	鹿児島	(104)	伊丹	帯広	(61)	熊本	函館	(26)			
新千歳	熊本	(64)	伊丹	庄内	(66)	熊本	秋田	(25)			
新千歳	宮崎	(61)	伊丹	徳島	(33)	宮崎	新石垣	(37)			
新千歳	長崎	(79)	伊丹	種子島	(21)	宮崎	高知	(28)			
新千歳	松崎	(68)	那覇	秋田	(39)	宮崎	宮古	(37)			
新千歳	新石垣	(106)	那覇	青森	(35)	長崎	秋田	(56)			
新千歳	大分	(33)	那覇	旭川	(48)	長崎	富山	(20)			
新千歳	高知	(21)	那覇	富山	(35)	松山	新石垣	(29)			
新千歳	高松	(52)	那覇	釧路	(26)	松山	新石垣	(23)			
新千歳	出雲	(66)	那覇	帯広	(21)	広島	新石垣	(33)			
新千歳	徳島	(21)	中	宮古	(23)	広島	函館	(32)			
新千歳	米子	(31)	中	屋久島	(31)	広島	秋田	(30)			
新千歳	岩国	(82)				広島	女満別	(27)			

休日調査

ODペア		(サンプル数)	ODペア		(サンプル数)	ODペア		(サンプル数)	ODペア		(サンプル数)									
羽	田	成	田	(67)	福	岡	熊	本	(27)	中	部	宮	古	(73)	新	石	垣	小	松	(37)
羽	田	对	馬	(80)	福	岡	新	石	(211)	中	部	屋	久	(29)	新	石	垣	岡	山	(62)
羽	田	久	米	(96)	福	岡	函	館	(52)	関	西	神	戸	(23)	新	石	垣	高	松	(41)
羽	田	屋	島	(176)	福	岡	秋	田	(52)	関	西	宮	古	(84)	神	戸	宮	古	(30)	
羽	田	德	之	(41)	福	岡	宮	古	(62)	関	西	女	満	(29)	岡	山	函	館	(23)	
羽	田	福	江	(77)	福	岡	青	森	(46)	鹿	児	島	仙	(43)	岡	山	久	米	島	(20)
羽	田	冲	永	(22)	福	岡	旭	川	(26)	鹿	児	島	新	(25)	出	雲	新	満	別	(34)
羽	田	天	草	(39)	福	岡	富	山	(31)	鹿	児	島	小	(22)	德	島	女	満	別	(29)
羽	田	種	子	(68)	福	岡	女	満	(25)	鹿	児	島	新	(36)						
羽	田	与	論	(25)	福	岡	帯	路	(20)	鹿	児	島	富	(24)						
羽	田	但	馬	(58)	福	岡	三	沢	(22)	鹿	児	島	女	(27)						
羽	田	隱	岐	(23)	福	岡	三	沢	(28)	仙	台	宮	崎	(27)						
羽	田	紋	別	(96)	伊	丹	関	西	(39)	仙	台	長	崎	(23)						
新	千	鹿	児	(137)	伊	丹	新	石	(83)	仙	台	松	山	(35)						
新	千	熊	本	(71)	伊	丹	宮	古	(155)	仙	台	出	雲	(29)						
新	千	宮	崎	(69)	伊	丹	旭	川	(80)	仙	台	宮	古	(24)						
新	千	長	崎	(94)	伊	丹	女	満	(74)	仙	台	女	満	(24)						
新	千	松	山	(119)	伊	丹	女	満	(43)	仙	台	宮	崎	(20)						
新	千	石	垣	(82)	伊	丹	帯	路	(78)	宮	崎	長	崎	(44)						
新	千	大	分	(39)	伊	丹	庄	内	(48)	宮	崎	新	石	(48)						
新	千	高	知	(106)	伊	丹	中	標	(26)	宮	崎	高	知	(21)						
新	千	高	松	(113)	伊	丹	德	之	(61)	宮	崎	富	山	(22)						
新	千	出	山	(43)	伊	丹	福	江	(22)	長	崎	富	山	(21)						
新	千	山	雲	(36)	伊	丹	福	江	(22)	松	山	新	石	(22)						
新	千	口	宇	(36)	伊	丹	大	館	(22)	松	山	秋	田	(23)						
新	千	德	島	(126)	那	那	霸	函	(28)	松	山	新	石	(22)						
新	千	旭	川	(26)	那	那	霸	青	(44)	松	山	新	石	(22)						
新	千	米	子	(49)	那	那	霸	旭	(44)	松	山	新	石	(22)						
新	千	岩	国	(57)	那	那	霸	富	(68)	松	山	新	石	(22)						
新	千	鳥	取	(21)	那	那	霸	富	(37)	松	山	新	石	(22)						
新	千	庄	内	(20)	那	那	霸	富	(37)	松	山	新	石	(22)						
新	千	庄	内	(20)	那	那	霸	富	(37)	松	山	新	石	(22)						
新	千	庄	内	(20)	那	那	霸	富	(37)	松	山	新	石	(22)						

表6 OD別 旅行目的 [問2-1・問5-1]

表6は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅客の旅行目的を集計したものである。

表7 OD別 旅行日数 [問2-2・問5-1]

表7は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅行日数を集計したものであり、日帰り以外の旅客については調査を受けた日が旅行中の何日目であるかについても集計した。

調査を受けた日（日帰り以外の旅客）の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例) 平日 表7 OD別 旅行日数 (単位: 人)

OD名	旅行日数											調査を受けた日(宿泊を伴う旅客)												
	日帰り	%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	不明	合計	1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目	%	5日目以上	%	不明	合計
羽田 — 新千歳	1,033	10.0	3,765	36.5	2,951	28.6	1,087	10.5	1,470	14.3	280	10,586	3,978	51.9	1,514	19.7	1,232	16.1	385	5.0	562	7.3	1,882	9,553
羽田 — 福岡	1,528	13.5	4,076	36.0	3,146	27.8	1,233	10.9	1,352	11.9	248	11,583	4,262	52.7	1,574	19.5	1,261	15.6	492	6.1	498	6.2	1,968	10,055
羽田 — 伊丹	2,188	23.8	3,700	40.2	2,170	23.6	528	5.7	616	6.7	179	9,381	3,125	54.6	1,408	24.6	822	14.4	167	2.9	204	3.6	1,467	7,193
羽田 — 那覇	284	5.6	964	18.9	1,691	33.1	1,220	23.9	949	18.6	130	5,238	2,101	53.3	380	9.6	668	16.9	504	12.8	292	7.4	1,009	4,954
羽田 — 中部	36	26.9	44	32.8	15	11.2	11	8.2	28	20.9	3	137	34	42.0	22	27.2	6	7.4	4	4.9	15	18.5	20	101

表8 OD別 旅行行程 [問2-3・問5-1]

表8は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた復路（調査時点が復路の場合は往路）の利用交通機関の状況について集計したものである。

表9-1 路線別 利用航空券の種類 [問2-4・問5-1]

表9-2 路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表9-1は、利用航空券の種類および座席の種類について、純流動ベースによる空港間ODペア別に集計したものであるが、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客は最初の区間の利用航空券の種類を集計している。

利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“乗継割引”、“マイレージ特典”、“回数券”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の7区分で集計している。その他割引運賃については、具体的な航空運賃の回答結果に基づき、平成25年11月の普通運賃に対する割引率を算出した上で、以下の集計表9-2の例に示すとおり7段階の幅で集計した。なお、普通運賃が複数存在する路線に関して、割引率の計算に用いる普通運賃は、個別の航空会社の普通運賃を用いて算定し、表9-2の普通運賃については、大手航空会社（JALまたはANA）の普通運賃を示した。また、普通運賃が複数存在する路線は*で示している。

なお、具体的な航空運賃が未記入（割引率不明）であるサンプルが多くなっているが、表9-2において“その他割引（不明）”として集計している。また、平成22年度調査においては航空運賃に関する設問が変更され、“航空運賃またはパッケージツアー料金”を記入する形式となったため、普通運賃よりも高い金額を回答したサンプルが増加している（航空運賃とパッケージツアー料金が誤認された可能性がある）。この様な、普通運賃よりも高額を回答したサンプルに関しては、“その他割引（不明）”に分類をして集計している。また、搭乗便の航空運賃が不明で合計金額を記入しているサンプルについても当該区間の運賃を回答しているわけではないため、“その他割引（不明）”に分類をして集計している。

例) 平日 表9-2 OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）（単位：人）

路線名	平成25年11月 普通運賃	割引率の内訳														その他割引 合計	
		その他割引 (0~10%)		その他割引 (11~20%)		その他割引 (21~30%)		その他割引 (31~40%)		その他割引 (41~50%)		その他割引 (51~60%)		その他割引 (61~%)			その他割引 (不明)
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
新千歳 — 羽田	33,500	59	2.9	143	7.1	351	17.4	345	17.1	331	16.4	332	16.5	454	22.5	1,854	3,869
羽田 — 伊丹	22,500	33	1.6	19	0.9	176	8.3	1,113	52.4	520	24.5	214	10.1	50	2.4	1,328	3,453
羽田 — 福岡	36,700	55	2.3	148	6.2	211	8.9	706	29.7	352	14.8	333	14.0	574	24.1	1,844	4,223
羽田 — 那覇	40,800	22	3.6	76	12.3	49	7.9	113	18.3	86	13.9	114	18.5	157	25.4	767	1,384
新千歳 — 伊丹	41,300	1	1.4	15	21.4	7	10.0	4	5.7	5	7.1	17	24.3	21	30.0	91	161

表 10 OD別 乗り換え空港 [問5-1]

表 10 は、純流動ベースによる空港間ODペアについて、直行便の利用者と他空港で乗り換えを行った旅客に分けて、その内訳を集計したものであり、特に、乗り換えを行った旅客が利用した空港（乗り換え空港）については、上位3空港を抽出し、それぞれにおける乗り換え旅客数を集計した。その際、2回以上の乗り換えもカウントしており、そのレコードは上位カウントの対象から外している。

羽田⇔成田、伊丹⇔関西、関西⇔神戸、神戸⇔伊丹、新千歳⇔丘珠、中部⇔小牧等の区間は、乗り換え経路として対象としている。

表 11 出発空港別 最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無 [問4-2・問5-1・問6-1]

表 11 は、各出発空港において出発旅客が空港到着時に利用した交通手段（最終アクセス手段）と、各到着空港において到着旅客が目的空港到着後に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計したものである。また最終アクセス手段が“自家用車”の旅客については、駐車場利用の有無について“空港内（空港内の駐車場を利用した）”、“近辺（空港外の近くの駐車場を利用した）”、“無し（同乗者が乗って帰ったため、駐車場の利用無し）”の3区分で集計を行った。

表 12 出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数 [問4-2・問4-3・問5-1]

表 12 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、空港アクセスに際して行った交通機関の乗り換え回数について集計したものである。

表 13 出発空港別 アクセス経費 [問4-4・問5-1]

表 13 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。

※アクセス経費の集計には自家用車利用者も含まれている。

表 14 出発空港別 見送り人数・空港滞留時間 [問3-2・問3-3・問4-5・問5-1]

表 14 は、各空港における出発旅客 1 人当たりの見送り人数と、出発旅客が出発空港に到着してから搭乗した航空機が出発するまでターミナルビル内にいた時間（空港滞留時間）について集計したものである。旅客 1 人当たり見送り人数の算出方法は、以下に示すとおりである。また、空港滞留時間とは、旅客が航空機の出発時刻の何分前に空港に到着したかを示している。

（1 人当たり見送り人数の算出方法）



注：同行者数には本人を含む。

表 15-1 空港間移動の手段 [問 4-1・問 4-2・問 5-1・問 6-1・問 6-2]

表 15-2 空港間移動の所要時間 [問 4-1・問 4-3・問 5-1]

表 15-3 空港間移動の経費 [問 4-1・問 4-4・問 5-1]

表 15 は、成田空港、関西空港、中部空港より国際線を利用した旅客（出発地が“海外”の旅客）について、羽田⇄成田、伊丹⇄関西、関西⇄神戸、中部⇄小牧 の空港間の移動に関する「最終アクセス・最初イグレス手段」、各空港間における「所要時間」・「経費」について集計したものである。

表 15-1 の集計項目において集計対象としている行程及びその交通手段のカラムは以下の通りである。また表 15-2、表 15-3 において集計している「所要時間」・「経費」に関する設問は、空港アクセスに関する設問であるため、下表の印（●、○、■、□）のついた行程のみが集計対象となる。

表15-1			表15-2・表15-3		
集計項目	行程		空港間移動の手段 の集計対象カラム	集計項目	空港間移動の所要時間 ・費用の集計対象
	→ 集計対象	⇒ 調査区間(国内線)			
① 海外→成田→羽田→国内各地	羽田最終アクセス	海外→成田→(地上交通機関)→羽田⇒国内各地	アクセス(5)	羽田-成田	●
② 海外→成田→羽田→国内各地	成田最初イグレス	海外→成田→(地上交通機関)→羽田⇒国内各地	最初アクセス	羽田-成田	●
③ 海外→関西→伊丹→国内各地	伊丹最終アクセス	海外→関西→(地上交通機関)→伊丹⇒国内各地	アクセス(5)	伊丹-関西	○
④ 海外→関西→伊丹→国内各地	関西最初イグレス	海外→関西→(地上交通機関)→伊丹⇒国内各地	最初アクセス	伊丹-関西	○
⑤ 海外→関西→神戸→国内各地	神戸最終アクセス	海外→関西→(地上交通機関)→神戸⇒国内各地	アクセス(5)	神戸-関西	■
⑥ 海外→関西→神戸→国内各地	関西最初イグレス	海外→関西→(地上交通機関)→神戸⇒国内各地	最初アクセス	神戸-関西	■
⑦ 海外→中部→小牧→国内各地	小牧最終アクセス	海外→中部→(地上交通機関)→小牧⇒国内各地	アクセス(5)	小牧-中部	□
⑧ 海外→中部→小牧→国内各地	中部最初イグレス	海外→中部→(地上交通機関)→小牧⇒国内各地	最初アクセス	小牧-中部	□

※①と②、③と④、⑤と⑥、⑦と⑧は同じ行程であり、これらの行程を対象とし表 15-2、表 15-3 において空港間移動の所要時間・費用の集計を行っている。